

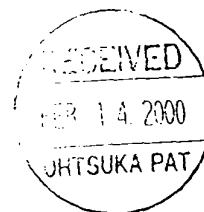
整理番号 3970032

発送番号 039017

発送日 平成12年 2月14日 1 / 3

拒絶理由通知書

特許出願の番号	平成11年 特許願 第116337号
起案日	平成12年 2月 2日
特許庁審査官	小松 徹三 8326 2G00
特許出願人代理人	大塚 康德 (外 2名) 様
適用条文	第29条第2項、第36条



この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

請求項：1-4、10、12-18、23、28、30-32、40-44

引用文献等No.：1

引用文献1に記載のものは、ブランキング期間に流れる電流を検出し、帰還制御することが記載されており、格別相違するものではない。

請求項：5、7-8、38、39

引用文献等No.：2

続葉有

続 葉



加速手段に流れる電流に応じて、輝度を制御している。

請求項：11、19

引用文献等No.：1-3

引用文献3には、表示用の素子以外に、検出用の素子を設けていることから、引用文献1又は2に記載のものにおいて、パネルの状態を検出するための電子放出素子を設けることは、当業者が容易に為し得たものと認められる。

B. この出願は、特許請求の範囲の記載が下記の点で、特許法第36条第6項第2号に規定する要件を満たしていない。

記

請求項1-44に記載される、「表示パネルの状態」、「表示装置の制御を行う」、「表示パネルの異常状態」等の記載は、その内容が不明確であるから、発明の外延が不明確となっている。

よって、請求項1-41、42、43、44に係る発明は明確でない。

(なお、補正により請求項1等を削除する場合には、発明の主要部や課題が共通するものであることに注意し、発明の単一性の要件を満たすことを意見書で簡単に説明されたい。)

この拒絶理由通知書中で指摘した請求項以外の請求項に係る発明については、現時点では、拒絶の理由を発見しない。拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

引 用 文 献 等 一 覧

1. 特開平3-207181号公報
2. 特開平9-190160号公報
3. 特開平8-22022号公報

続 葉

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら上記審査官までご連絡下さい。

審査第2部 応用物理

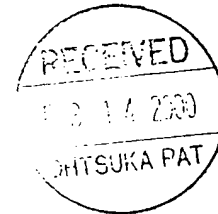
TEL. 03(3581)1101 内線3226 FAX. 03(3501)0604

先行技術文献調査結果の記録

・調査した分野 IPC第7版 G09G3/22

DB名

・先行技術文献 特開平11-288248号公報
特開平11-288249号公報
特開平8-30220号公報
特開平2-39678号公報



この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。